

ただいま、おかえりって言いあえるまちに
みんなで広げよう、シトラスリボンプロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

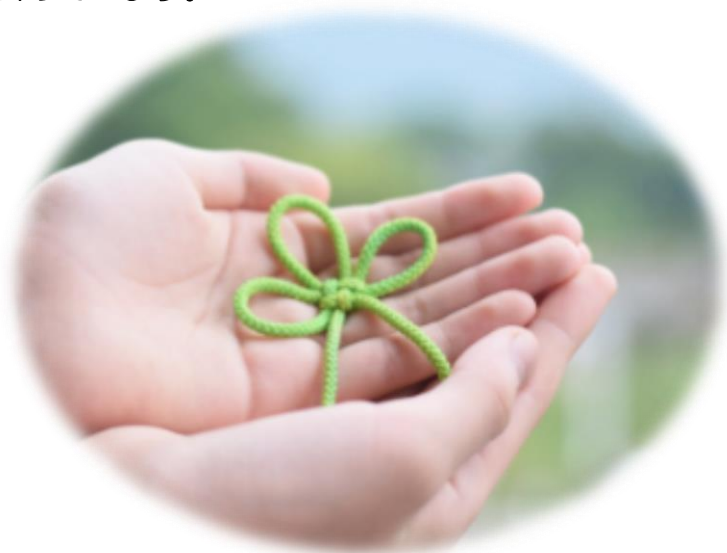
From HidaTakayama

シトラスリボンプロジェクトとは

新型コロナウイルス感染症の拡大は、健康で快適な生活を脅かすだけでなく、医療従事者や感染者への差別や偏見を引き起こしています。

シトラスリボンプロジェクトは、このような差別や偏見をなくし、誰もが笑顔で暮らせる社会を取り戻すために、愛媛県の市民団体がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけたり、家庭の玄関や郵便受けに掲示して、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

シトラスリボンの3つの輪は、「地域」と「家庭」と「職場（もしくは学校）」を表しています。シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備し、「3つの輪」を作ればシトラスリボンの完成です。シトラスリボンを作って身につけたり、周りの方へ、シトラスリボンの意味を伝えることにより、新型コロナウイルス感染症への差別を防ぎましょう。



高山市は、市民の皆様が笑顔で暮らせるまちをめざして、シトラスリボンプロジェクトに取り組んでまいります。市民の皆様にもご賛同いただき、思いやりの輪を広げましょう。

𠄎 高山市

賛同していただける方へ

◆ SUPPORTERS ◆

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者やエッセンシャルワーカーの皆様など）がそれぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますように。そんな想いを共有していただける方に、次にご紹介する方法で、あなたの住むまちにエールを送っていただけたらうれしいです。



1 シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。



2 その材料で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」を作れば「シトラスリボン」のできあがり。結び方は、「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に。



3 この「シトラスリボン」を身につけたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか？」「また会いましょう！」の言葉とともに贈りあうのも良いかもしれません。



4 リボンの画像をSNSで発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#ただいま #おかえり
#ついでいいあえるまちに
#CitrusRibbon from HidaTakayama

シトラスリボンの作り方

◆ HOW TO MAKE ◆



Citrus Ribbon
PROJECT

リボンの作り方は
#シトラスリボン
で検索を

ちょびっと19+

「COVID-19」がもたらす「災禍」の中で、「少しでも+（プラス）を生み出せたら」と願い発足したグループです。大学関係者・企業経営者・メディア関係者などの有志が所属機関とは関わりなく、個人としてゆるやかにつながり、ほんの「ちょびっと」だけでもできることがないか模索しています。

「ちょびっと19+」共同代表

甲斐朋香（松山大学法学部准教授）／前田眞（愛媛大学社会連携推進機構教授）